



前期で習得した内容を応用

プレゼンの様子



3年生後期の科目である「発達過程作業療法学演習」で小児作業療法の遊び道具（治療道具）を作る実習を行いました。



ただおもちゃを作成するのではなく、治療のねらいや期待される効果などをプレゼンします。



写真は名づけて「感覚統合BOX」。手を差し込むと様々な感覚が体験できます。



こちらはダンボールハウス。中には様々な仕掛けがありました（見えなくてすみません）。

磁石の迷路や魚釣り、型はめBOXなどグループごと個性的な発表会になりました。おつかれさまでした！